

洋書輸入協会会報

VOL. 8

NO. 5

(通巻85号) 昭和49年5月

理事会報告

3月27日(火)

- (一) 外郵における書籍通関制度の変更について通関委員会丸善柴田氏から報告があり、討論のうち、協会として、各社の通関責任者および担当者を召集して説明会を開催することとした。
- (二) 関東書籍株式会社の脱会を昨年12月31日付けで承認。
- (三) 49年度予算編成に伴い、会費の値上げについて討論。20パーセント・アップを総会に提案することに決定。
- (四) British Council から連絡のあった ALPS 代表団の訪日について渉外委員会山川氏から報告。理事会および会員各社それぞれの立場で協力することに決定。(Vol. 8. No. 4. P. 9 参照)
- (五) 通関協議会役員改選について柴田氏から報告があり、従来どおり副会長にとどまるよう決定。
- (六) その他

4月10日(水)

- (一) 三月分収支計算・予算対比表の検討。
- (二) 48年度決算案、49年度予算案について検討。総務委員会提出の原案どおりに決定。
- (三) 4月9日の外郵書籍通関についての説明会について柴田氏から報告。東京税関東京外郵出張所及び本関から5名の係官の出席を得、会員97名が参加し、はなはだ有意義であった。
- (四) 通関協議会の総会において副会長に選ばれることになった旨柴田氏から報告。
- (五) 会員および外国出版社の債権確得について討論。

4月26日(金)

総会の議事について打合せ。

4月26日(金)——49年度第一回

総会の休憩中に理事会を開催。丸善株式会社が満場一致で理事長に選ばれた。

理事会報告……………	1	パリ、コペンハーゲンそして東京	4	ニュース……………	7
総会報告……………	2	外国出版社の紹介 No. 27……………	5	通関統計……………	7
通関委員会だより……………	2	Book Review No. 15……………	6	お知らせ……………	7
飯泉理事長のプロフィール……………	3	海外ニュース……………	6	総代理店御案内……………	7
				広告 (USACO) ……	8

総 会 報 告

本協会の定時総会は4月26日（金）2時から5時まで日本出版クラブで洋販渡辺正広氏司会のもとに開催された。

1 総会成立、正会員68社、出席31社、委任状提出21社、52合計社で成立。（最終的には正会員39社、準会員0、賛助会員3社が出席。）

2 理事長代理挨拶（丸善桜井喜代志氏）経済情勢が流動的となり、この業界も曲り角に立っている感がある。業界はどうあるべきか、わが協会はどういう方向を向くべきかについて考えざるを得ない。外国為替の固定制時代には考えられなかったような深刻な影響をうけているのみならず、一般商社のような先取り値上げの不可能なこの業界にとっては、昨年2月15日の米ドルの10パーセント切下げ以後の一年有余の推移を回顧し、そこから十分に学びとっていかなければならない。とくに最近の狂乱物価、インフレのなかで、大幅なコスト・アップを吸収していくために、業界にとってはとくに解決すべき問題が多い。

3 新入会員紹介

準会員 大阪洋書 賛助会員 OECD Publications Center, Japan English Service（なお、関東書籍株式会社およびビルポート社の退会もあわせて発表された。）司会者から2年以上経過した準会員は正会員になるよう特に要請し、今後事務的に打合せたい旨が提案された。

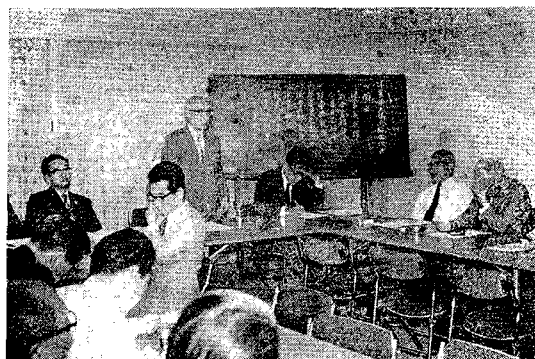
4 出席者の自己紹介

5 理事会報告（丸善福田忠氏）

変動制のもとにあって多事多難な年を会員の御支持をえてどうやら乗りきってきた。とくに今期は外国為替の動きが激しく、それに石油危機、インフレが加わり、郵便物通関制度の変更もおこなわれるなど、理事会としては、まことに多くのしかも切実な問題の解決に当らなければならなかった。従って月2回の定例理事会のほか、臨時・緊急の理事会が何回となく召集され、全理事が一致して努力をした。

6 各委員会報告

総務（丸善木下泰雄氏）会報（極東書店一條元美氏）渉外PR（U. S. エシアテック山川隆雄氏）経営研究（紀伊國屋書店相良広明氏）労働研究（東光堂書店石内茂吉氏）ダイレクトリイ（洋販栗原



光輝氏）雑誌資料（国際書房服部貞夫氏）雑誌補充（三洋出版貿易鈴木常夫氏）洋書交換（日本出版貿易村山俊男氏）通関（丸善柴田三夫氏）文教（福田忠氏）文化厚生（渡辺正広氏）

7 関西支部報告（緑書房丹羽正之氏）および関西支部決算報告

①通関②統一カタログ③価格査定④夏の海の家の設営を四本柱として過営している。

8 昭和48年度決算報告（木下泰雄氏説明）

9 同上監査報告（内外交易山縣有光氏）（以上の各報告は何れも満場一致で可決・承認された。）

10 役員選挙

司会者渡辺氏から投票管理委員として三品書店三品要次氏、メクレンブグ商会鈴木和夫氏、ゲーテ書房村山新吾氏、白水社本田喜恵氏、UPS上杉勝良氏、福本書院福本和子氏を委嘱、投票に移った。

理事 投票総数 59 白票 1 有効 58

一位 紀伊國屋書店 44票

一位 極東書店 44票

三位 国際書房 43票

三位 洋販 43票

五位 丸善 42票

六位 東光堂 41票

七位 三洋出版貿易 39票

八位 U. S. エシアテック 38票

九位 日本出版貿易 34票

次点 U. P. S. 13票

〃 医学書院 11票

〃 ナウカ 11票

関西支部 緑書房

独亜書院

監事 投票総数 59 無効 3 有効 56

一位 南 江 堂	34票
二位 内 外 交 易	32票
次点 医 学 書 院	4票
〃 メクレンブルグ商会	4票

関西支部 オーヴィス

11 休 憩（第一回理事会開催のため）

12 新理事長代理挨拶（桜井氏）

理事長に選ばれ光栄であり、責任を感じる。各理事および全会員の御支援のもとにベストをつくして任務を果たしたい。

13 緊急提案（渡辺氏）

諸種の事情を考え、来年から総会を5月に開催したい旨を提案、満場一致で可決された。

14 会費増額提案（福田氏）

42年以来据置きになっている会費の値上げを提案、賛成討論があったのち可決された。なお、福田氏からこの物価情勢では将来さらに値上げが必要になるだろうとの説明があった。

15 年度予算案上程（木下氏説明）可決

16 閉会の辞（相良氏）

会員の皆さまの御協力のもとに総会を成功裡に終

え、感謝にたえない。冒頭の理事長代理挨拶にあったとおり、業界は曲り角に立っており、その前途は必ずしも楽観を許さない。業界の総知と総意とを結集して前進していきたい。

以上をもって定時総会を終了し、別室において、丹羽氏の音頭で乾盃の上、なごやかに懇親パーティが開催された。

通関委員会だより

新 Book 通関制度の説明会開催。

去る4月9日午後2時より日本出版クラブにおいて郵便による出版物の輸入手続の説明会が開かれた。当日は東京税関東京外郵便出張所より、野村所長、神林、服部両統括審査官、山浦審査官、および本館から田嶋統括審査官が出席され、新制度の主旨および手続についてご説明があり、協会員多数が出席し質疑応答も行われた。手続の詳細については改めて会員に通知するほか、次号にも掲載の予定。

（柴田記）

飯泉理事長のプロフィール

“人生は二度と繰り返し得ない。一日一日悔いのない充実した日を送りたい”日頃からこの言葉を信条として、弛まざる努力と研鑽の日々を送られている飯泉理事長。真面目で堅実なお人柄は衆目の見るところですが、半面、ゆたかな人生経験を通して人情の機微を心得られた、まことに滋味あふれる苦労人である、とも伺っております。

飯泉さんは茨城県のご出身で、明治38年生れですから今年69歳。大正9年に丸善へ入社されてから主としてスタッフ部門を歩まれ、戦後の混乱期には調査課長、秘書部長として司社長（前理事長）の会社再興を助け、優れた手腕を発揮されて昭和31年には取締役社長室長の要職を担われ、常務、専務を経て昭和46年に社長に就任されました。

一方、財界においては知識人として異色な活動をされており、今年初頭には政治・経済の指導者たちの姿勢、心構えについて『モノから心へ』の価値観の転換をはかるべきとの提言を紙上に披瀝され、日本の歩んで来た路線への反省を促されたことは、心の糧として重要な役割をもつ書籍を通じて日本文化の発展に資するという信念のもとに、確たる見識を示されたものといえましょう。

なお、ご趣味はゴルフと哥沢ですが、特に哥沢についてのエピソードは多く、芝派の名取りとして芝千泉の名を持ち、昭和31年以来この道に打込んで“入門当時とは、ひと月一段を目標に、三年間で三十三段を修めた”といわれ、その情熱と粘りは飯泉さんの人物像を如実に描き出された逸話として語られております。



<特 別 記 事>

パリ コペンハーゲン そして東京

竹 内 孝 次

セーヌ河はパリに入るとシテ島を挟んで二分され、その流れは急に都会的な装いをおび、岸辺を散策する人人に親しげに語りかけてくる。ここはパリ発祥の地であり、他の地区には見られない独得な歴史の鼓動が感じられる。ちょうどこの辺のセーヌ河沿いに、青空古本屋が軒ならぬ箱を連ねて店開きする。古い時代の見事な装丁本や、デュマの「三銃士」、サガンの「悲しみよ今日は」、ディッケンズの「二都物語」の原本など千差万別の本、変色した古い絵葉書や地図などが、きちんと並べられている箱もあれば、乱雑に放りこまれたままのものもある。今にも粉雪の舞ってきそうな灰色の寒空に、箱がぽっかり口を開け、そこに吊されたエッフェル塔の水彩画が寂しく風に震えている。店のおやじは鼻の頭を真っ赤にして、白い息を煙草のようにプープー吐き出しながら箱の前を行ったり来たりしている。隣の閉められた箱の上には、餌にあぶれた鳩が一羽寒そうに翼を休めている。水ぬるみ淡い日影に忍び寄る春の気配が感じられる頃、煤煙と鳩の糞で汚れきった古本屋の箱はあちこちで口を開け、その数はさすがに多くなる。それは道行くパリの人たち、そして早くも訪れる観光客の数の増加に応じようとしているかの如くである。やがてパリは、馥郁たるリラの香りと、目も覚めるばかり鮮かなマロニエ、プラタナスの青葉若葉に町全体が恍惚としてしまう。セーヌ河畔の往来は俄かに活気を帯び、古本屋の前に足を止める人も多くなる。何処かで仕入れてきた大衆小説にセロファンをかけている老人の本屋。箱の前の小さな椅子に大きなお尻をはみ出すようにのせたおばさんは色褪せた麦藁帽子をかぶり、真っ赤な口紅がえらく不似合いである。椅子につながれた愛くるしいテリアが箱を覗いていく人の足元をくんくん嗅いでいる。客が本を買っても別段微笑むわけではなく、金を受取ると無愛想に「メルシィ」とだけ言って、すぐに隣の仲間と世間話を続ける本屋もある。

こうした古本屋が店を出す辺りでセーヌ河を渡り、右岸をやや北西に進んだところに国立図書館があ

る。朝9時の開門から夕方5時45分にジャンジャンと消防自動車のような鐘が鳴るまで、教師、研究者——普通の大学生の資格では入館は許可されない——を中心に実に多くの人が着席番号を受取って、閲覧室に出入りする。夏は四百近い席が一杯になることはまずないが、冬は一時間位待たないと席の空かないことが多い。家庭での光熱費節約の現れなのだろうか、いかにもフランス人らしい。ここでは申込んだ本を係員が席まで運んでくれるし、翌日もその本を使いたければ、その旨申出ると書庫にしまわず別に保管してくれるから便利である。特に貴重な本は特別閲覧室で、また定期刊行物、原稿はそれぞれ専用の閲覧室で読むことになっている。

図書館での勉強を終え学生街のある左岸へ戻る道は何とも美しく楽しい。特にボン・デザールから見るシテ島の眺めは、都市美観の一つの頂点を示すとも言えるだろう。こんなに素晴らしいパリを捨てて、一体世界の何処に住めるというのだろうかなどと勝手にパリ永住を夢見たこともあったが、運命は次の滞在地として北欧の都市コペンハーゲンを選んだのである。

風と霧と暗黒の長い冬の厳しさを補って余りある夏の美しさは、この世のものとも思われない。澄みきった青空に燦燦と降り注ぐ太陽に空気が光って見える。何時しか夜の帷が迫っても、暮れそうでなかなか暮れない黄昏時、甘い海のそよ風に柔らかに愛撫されながら散歩する金髪娘たちが、また一段と美しく見える。彼女たちがよく晴れた日、公園の芝生でビキニ姿もなまめかしく日光浴をしながら本を読んでいるのをよく見かけるが、事実、長い屋内生活を強いられるこの国の人には読書家が多い。公共図書館はかなりの数に上り、自宅への借出しも自由で、年金生活者や主婦が積極的に利用している。一方、学生や専門家には王立図書館があり、その充実ぶりは本当に羨しい。電話で本を申込みこともできるし、本がなければ外国の図書館にも問合わせてくれる。この図書館の前には見事なばらの庭園があり、利用者の絶好な憩いの場であるばかりか、観

光バスのルートにも入っている程である。

長い欧州滞在中、本の利用では実に恵まれていたが、帰国した途端、すべてが狂ってしまった。第一、商売道具の本の大部分さえも押入に放り込まざ

るを得なくなったのである。わが国では、人も本も満足に「住むに家なし」とは、何とも忙しい限りである。

(津田塾大学教授)

外国出版社の紹介 No. 27

J. B. Lippincott Company

East Washington Square, Philadelphia, Pennsylvania

米国最古の出版社のひとつであるリッピンコット社の歴史は、Jacob Johnson がフィラデルフィア市本通りに書店を設立した1972年に始まった。1850年、当時すでに書籍販売、出版、印刷事業で成功していた Joshua Ballinger Lippincott がこの書店を入手し、1885年に会社組織にしたのが現在のリッピンコット社である。

リッピンコット社の出版事業は5部門に分けることが出来る。その第1は創立当初より今日まで続いてきた成人・児童対象のフィクション、ノンフィクション出版部門である。Malcolm Lowry, Leon Edel, Hal Borland, Stephen Birmingham, Stewart Alsop, Piers Paul Read などの著者による作品は広く知られており、また皇太子殿下の教師だったヴェイニング夫人の Windows for the Crown Prince も同社の出版である。児童書としては Dr. Dolittle, The Secret Garden などがあり、また Mrs. Piggle-Wiggle シリーズや Portraits of the Nations シリーズもよく知られている。

医学部門の出版活動はわが国で最も馴染深いものであるが、これは1830年に Samuel D. Gross 著 Anatomy, Physiology and Diseases of the Bones and Joints を出版したことに始まる。この3年後には有名な薬方書 United States Dispensatory の初版が刊行されたがこれは定本として版を重ね現在は第27版がわが国でも好評を得ている。また中山恒明著 Atlas of Gastrointestinal, 高橋正宣著 Color Atlas of Cancer Cytology (以上医学書院刊) など日本人著者による卓越した医学書をリストに加え米国に紹介している。またジャーナル部門は世界最古の外科学誌 Annals of Surgery を含む19種の医学誌を刊行している。

Educational Division は小・中高レベルの教科書を出版しているが、なかでも小学校テキスト McCracken-Walcutt: Basic Reading Program は米国国内で広く採用されている。高校レベルでは社会科学、ホーム・エコノミックス、スペリング、スピーチ関係に重点をおいているとのことである。

Higher Education 部門は、人文、社会科学および生物科学分野でカレッジ用テキストを出版している。特筆すべきは米国でも1・2を競う看護関係テキストの出版であろう。Fundamentals of Nursing, Maternity Nursing, Textbook of Medical-Surgical Nursing などのテキストは定本として余りにも有名である。

1961年には聖書の出版社 A. J. Holman Company を買収したが、この関係では Holman Illustrated Edition of the Living Bible が知られている。リッピンコット社は New Directions シリーズの配給元でもあり、またウエザヒル出版社の書籍も扱っている。

リッピンコット社はフィラデルフィアに本社と配給センター、ニューヨークに編集関係の事務所、トロントにカナダ事務所をもち、従業員は現在500人をこえている。社長の Joseph W. Lippincott, Jr. は創立者の4代目にあたり、日本をすでに何度も訪問しているので、洋書出版業界の多くの方々と親交がある。とくに最近では書籍の輸入を通して日本の一流の医学関係の研究業績を米国に紹介することに情熱を傾けている。(リッピンコット社の歴史より＝大垣訳)

今井直一著「書物と活字」

書物について書かれた本は数多いが、たとえば新入社員の教育のために適当な一冊を、と云われると、案外手頃なものがなくて困ってしまう。以前「岩波写真文庫」で出ていた「本の話」など、よく出来た本だったが、現在は絶版で入手し難い。何か手頃なものはなからうか、と書店の棚を物色した挙句、手にしたのがこの本であった。

B 6版 220 頁というのは、さしてかさばらず、電車の中でもひもとくに好都合なサイズである。何よりも気に入ったのは、見るからに「本造りの専門家」がつくりました、という感じを与えるそのスッキリした造本である。明るいレンガ色の紙装にややクリームがかった用紙、本文五号活字の、一見何の変哲もない本でありながら、その隅々に神経が配られていることが、頁を繰っているうち読むものに伝わって来る。こういうことも「読書のよろこび」の一つに数えてよいのではなからうか。

内容は (1) 書物の発達 (2) 活字書体ものがたり (3) 読む科学 (4) 欧文の書体 (5) 和文活字の読みやすさ (6) 活字の縮少と拡大 (7) 印刷適性と効果、の七章に分けられている。著者は本題である活字に触れる前に、いわば話の筋道として此の第一章「書物と発達」を書いたのかもしれないが、僅か30数頁の紙面に西と東の本の起源と発達がまことに要領よくまとめられている。初学者の入門

のためにも熟読してよい一章と云えよう。第二章から著者は、その半生の研究の対象であった「活字の世界」に読者を誘ってくれる。洋書を扱うものにとって、欧文活字に関する一応の知識は欠かせぬものであらうが、それを充分に満たしてくれる記述である。我々が日頃何気なく読みすてている活字も、そのファミリーを知り、より美しい活字を造り出すために払われた先人の労苦を知るとき、新しい親しみと美意識の対象となることであらう。余談になるが、日本で刷られた英文刊行物の中には、我々素人の眼で見ても、いかにも野暮ったい感じを受けるものが多い。これは逆のケースにも云えることで、此頃時々見かける欧米の新聞・雑誌の中の日本人の、一昔前の和文活字のおかしさに気づかぬ人はいないであらう。長い伝統から生れる印刷文化、活字の美、といったものが、一朝一夕の猿真似や借り物ではどうにもごまかすことの出来ない、厳しい造形美を要求しているということに気づく時、人は本や活字について、より一層の関心を持つようになるのではないだろうか。

「あとがき」を読んで始めて知ったが、この本の初版は昭和24年、丁度1/4世紀前に刊行され、著者は10年前に世を去られている。「この珠玉のような書物をこのまま埋れるに委せることにしのびないものを感じ」版を重ねることにした、という刊行者の言葉は、そのまま故人へのよきはなむけとも云えるであらう。(SK)

(発行所：印刷学会出版部 普及版 800 円)

海外ニュース

「ニュース書籍展中止」

5月4日から9日まで開催の予定であったニュース・ブック・フェアは、関係当局の要請により、仏大統領の死去を以て、今年は中止されることになった。

1975年には再開される予定である。

(The Bookseller, 1974年4月20日号より)

「モンテリオール国際書籍展」

カナダのモンテリオールで出版物の国際見本市を開催する計画がこのほど発表された。第一回は1975年5月15日から19日まで、その後は毎年やはり5月に開催の予定である。この種のフェアは、フランクフルトをはじめヨーロッパの諸都市ではいくつかあ

るが、北米でははじめてのものである。

この見本市は私的に組織されるものであるが、カナダ政府、ケベック、モンテリオール州政府の強力なバックアップを得て、規模の上でも内容の点でも最高のものを志しているようである。

(Publishers Weekly, 1974年4月22日号より)

「ハーコート社が法律分野に進出」

Harcourt Brace Javanovich, Inc. は、ロサンゼルスで法律書の出版・販売を行っている数社を買収することになった。買収されたのは、Bay Area Review Courses, Inc., Gilbert Law Summaries, Inc., Legalines, Inc., Law Distributors, Inc., である。

これにより同社は本格的に法律書の出版、販売に乗り出すことになった。

(Publishers Weekly, 1974年4月22日号より)

——紀伊國屋書店提供——

ニュース

☆ 4月19日 P.M. 5.00より7.00まで、港区赤坂2-3-4 赤坂パークビルのOEC D出版物センターにおいて、同出版物の展示会とレセプションが行われ、洋書輸入協会のメンバーが多数出席、盛会であった。

通関統計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）1974年1月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和49年1月 \$4,826,000

昭和48年1月 \$4,670,000

（註）此の統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まれない。

お知らせ

下記の出版社がわが国におけるエージェントを求めています。出版目録その他の資料はブリティッシュ・カウンシルにありますので、おたずねください。

Gordon Fraser Gallery Ltd.

Kaya & Ward Ltd.

Victor Gollancz Ltd.

James Pike Ltd.

Society for Research into Higher Education, Ltd.

お知らせ

Directory 1974 の42頁のMacmillan Japan Office. マクミラン出版社日本支社の電話が次の通り変更になって居りますので訂正願います。

☎ (03) 264-1269

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

（株）紀伊國屋書店 ☎ 354-0131

The Biochemical Society Symposia.

No. 37: The Structure and Functions of Eukaryotic Ribosomes.

(The Biochemical Society, U. K.)

¥3,080

丸 善 株式会社 ☎ 272-7211

MTP International Review of Science Biochemistry:

Series One. 12 Vols. '73-'75 (Butterworth)

per vol. ¥7,480

Bergmeyer, H. U. (ed.) - Methods of Enzymatic

Analysis. 2 Vols. 2nd ed. '74 (Verlag Chemie)

¥49,000

Finite Element Methods in Flow Problems. Ed.

by J. T. Oden, O. C. Zienkiewicz, R. H. Gallagher

& C. Taylor. (UAH Press)

¥7,400

Riegel's Handbook of Industrial Chemistry. 7th

ed. by J. A. Kent. 912 p. 400 illus. '74 (Van

Nostrand Reinhold)

ca ¥13,870

Laragh's Hypertension Manual. Ed. by J. H. Laragh.

'74. app. 900 p. 150 illus. (Yorke Medical Books)

ca ¥14,430

内 外 交 易 株式会社

☎ 400-2326

Codex Caesareus Upsaliensis

(Almqvist & Wiksell, Sweden)

¥427,000

三 洋 出 版 貿 易 株式会社

☎ 669-6761

RAMAN/IR ATLAS of Organic Compounds, in

2 Volumes in 3 issues Edited for the Institut

für Spektrochemie und Angewandte

Spektroskopie Dortmund

by B. Schrader and W. Meier

Issue No. 1 1974年5月刊 予約特価

セット ¥96,600

(各巻¥32,200)

Issue No. 2 1974年秋刊予定（予約特価は第2冊発

行時まで）

定価 ¥111,300

Issue No. 3 1975年刊予定 (Verlag Chemie

GmbH, Weinheim)

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262-5278

Indexes to the British Parliamentary Papers

1800-1899.

(Irish University Press)

Koerner: Ferdinand de Saussure. (Pergamon Press)

Vinogradoff: Oxford Studies in Social and Legal

History.

(Octagon Books)

Pearson: Handbook of Applied Mathematics.

(Van Nostrand Reinhold)

月刊誌創刊のお知らせ

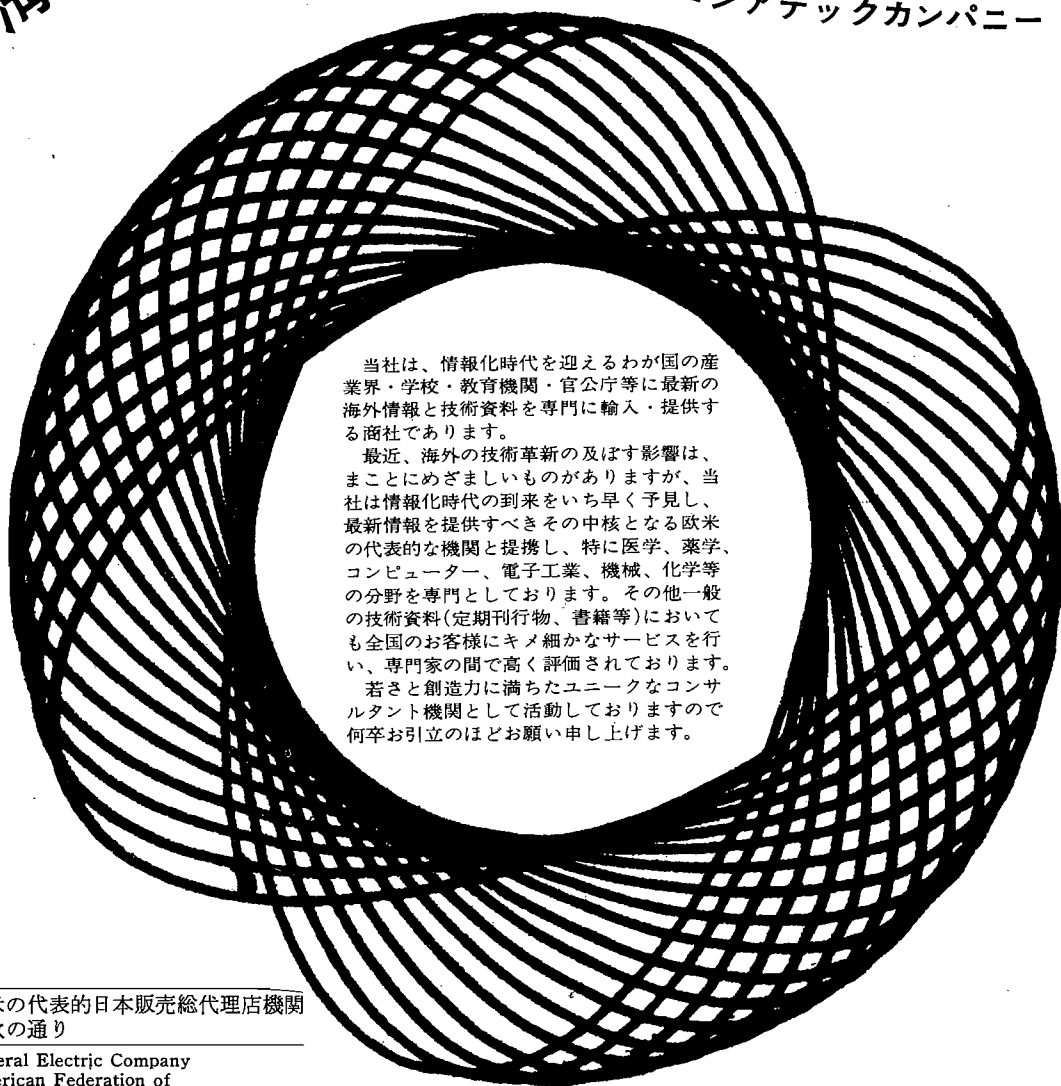
Computext Book Guide

(G. K. Hall & Co., 70 Lincoln Street,

Boston, MA 0211)

海外と日本を結ぶ科学技術情報コンサルタント

●ユー・エス・エシアテックカンパニー



当社は、情報化時代を迎えるわが国の産業界・学校・教育機関・官公庁等に最新の海外情報と技術資料を専門に輸入・提供する商社であります。

最近、海外の技術革新の及ぼす影響は、まことにめざましいものがありますが、当社は情報化時代の到来をいち早く予見し、最新情報を提供すべきその中核となる欧米の代表的な機関と提携し、特に医学、薬学、コンピューター、電子工業、機械、化学等の分野を専門としております。その他一般の技術資料(定期刊行物、書籍等)においても全国のお客様にキメ細かなサービスを行い、専門家の間で高く評価されております。

若さと創造性に満ちたユニークなコンサルタント機関として活動しておりますので何卒お引立のほどお願い申し上げます。

欧米の代表的日本販売総代理店機関は次の通り

General Electric Company
American Federation of
Information Processing Societies Press.
AUERBACH Publishers, Inc.
International Data Corporation
Institute of Scientific Information
Information Retrieval Ltd.
American Society for Microbiology
Int'l Food Information Service
Society for Industrial & Applied
Mathematics
The Institution of Electrical Engineers
(抄録誌除く)
British Hydromechanics Research Ass'n
Engineering Sciences Data Unit Ltd.
Others.

日本販売総代理店

株式会社ユー・エス・エシアテック カンパニー

本社 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル
☎ 東京 502-6471 (代表)
名古屋 名古屋市中区栄3丁目17番地
☎ 名古屋 931-2601 (代表)
大阪 大阪市北区堂島船大工町14番地日昭ビル
☎ 大阪 341-5291 番 344-6624, 3177 番

USACO

U. S. - ASIATIC COMPANY, LTD.

昭和49年 5月 通巻第85号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル 302号室 ☎ 271-6901
☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329